

# Excel 快速 お仕事術

満載!  
業務に役立つ  
実用テクニック



牧村 あきこ  
MAKIMURA, Akiko

第13回

## 自前の禁則処理を施し、 文字を揃えて改行しよう

### Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:  
Excel 2000/2002

### Level



### Samples

・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DOTNET¥EXCELディレクトリに収録しています。

・SAMPLE0411.XLS  
今回のサンプル



### 文字をキレイに 揃えたい

Excelで単に作表するだけでなく、ワークシート上に帳票を作成しそのまま出力して利用……、といった使い方をしている方は多いはず。仕事で使う帳票にもいろいろな種類がありますが、営業日報や分析レポートなど、報告書形式のものは記載する文字量も少なくありません。セルに文字を入力する際、セル内に入力できる文字数は、列幅や行高を調整するほか「セルの書式設定」ダイアログボックスで文字列を折り返すかどうかといった文字制御のオプションで調整します。ですが、当然のことながらワープロのようにきめ細かな設定をすることはできません。

そこで今回は、セルに入力された文字列を思い通りに操作する機能のひとつとして、セル内の文字を指定した文字数で自動改行し、

句読点や括弧など行末あるいは行頭に配置したくない文字を調整する禁則処理も設定できるようにプログラムを作成することにしましょう(図1)。



### 文字の改行パターンを決める

決められた文字数で改行することは、一見簡単なようで、実際の目的を考えるといろいろな問題が出てきます。半角文字を1文字と数えるのか、セル内の元の文字列内で改行されている場合はどうするかなど、細かな例をあげてゆくとキリがありません。

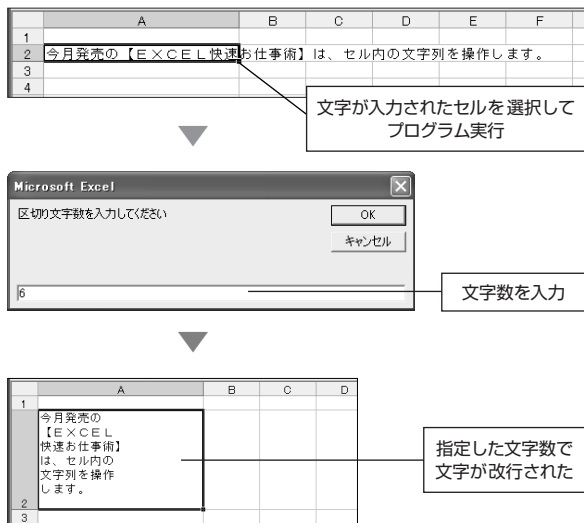
そこで、今回はプログラムの仕様ともなる改行ルールを次のように決めています。

### ルール 1 禁則処理

行頭/行末に配置したくない文字を決め、それぞれの文字が行



図1：セル内の文字を自動改行する



頭/行末に来た場合には前行または次行に文字送りをする (図2)

### ルール 2 セル内で改行されている文字の扱い

もともとのセル内の文字列の中で改行されている場合には、その改行を優先する (図3)

### ルール 3 複数セルの文字を結合

複数のセル範囲が選択された状態でプログラムが実行された場合には、選択されたセル内すべての文字を改行で区切って連結し、アクティブセルにまとめて表示する (図4)

ルール1では、文字を改行する場合に禁則処理を施すことを決めています。今回は、表1に示した文字を禁則処理の対象とし、プログラムでもそのように処理していますが、対象文字は必要に応じて適宜変更してください。

ルール2は、もともとの文字列が改行されている場合の処理を決めています。セルの中で文字を改行する場合には、[Alt] キーを押しながら [Enter] キーを押しますが、このようにあらかじめ改行されている文字列は、指定した文字数に満たない場合でも、もともとの改行を優先させることにします。

ルール3は、複数のセル範囲が選択されプログラムが

図2：禁則処理のルール

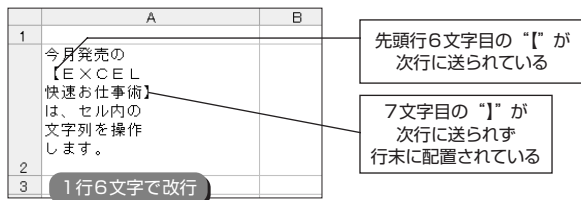


図3：もとの改行を優先して改行する

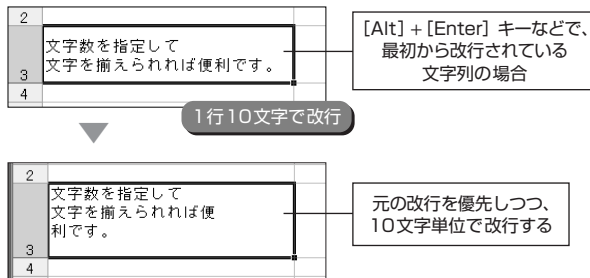


図4：複数のセル内の文字をひとつにまとめて改行する

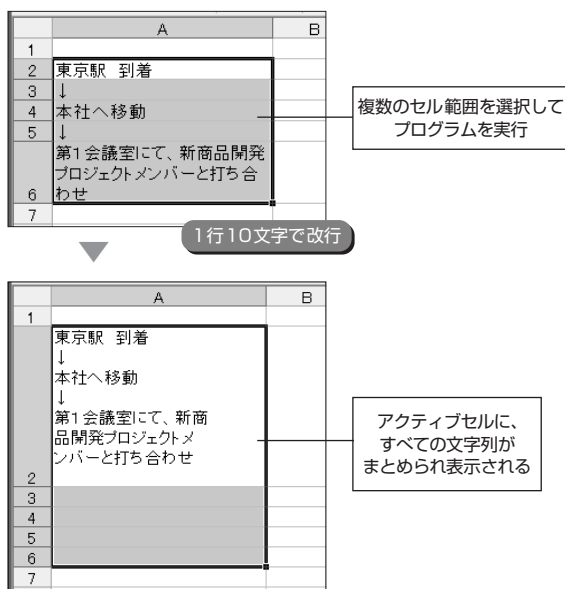


表1：禁則処理の対象となる文字一覧

行頭に配置してはいけない文字	、。)] ) ] ] ! ?
行末に配置してはいけない文字	[ ( [ [ [

実行された場合の処理です。このプログラムはあらかじめ対象となるセルを選択した上で実行します。複数のセル範囲が選択された状態で実行されると、それぞれのセル内の文字を結合し、あらたに改行で区切ってひとつのセルにまとめる働きをします。本来このプログラムは、